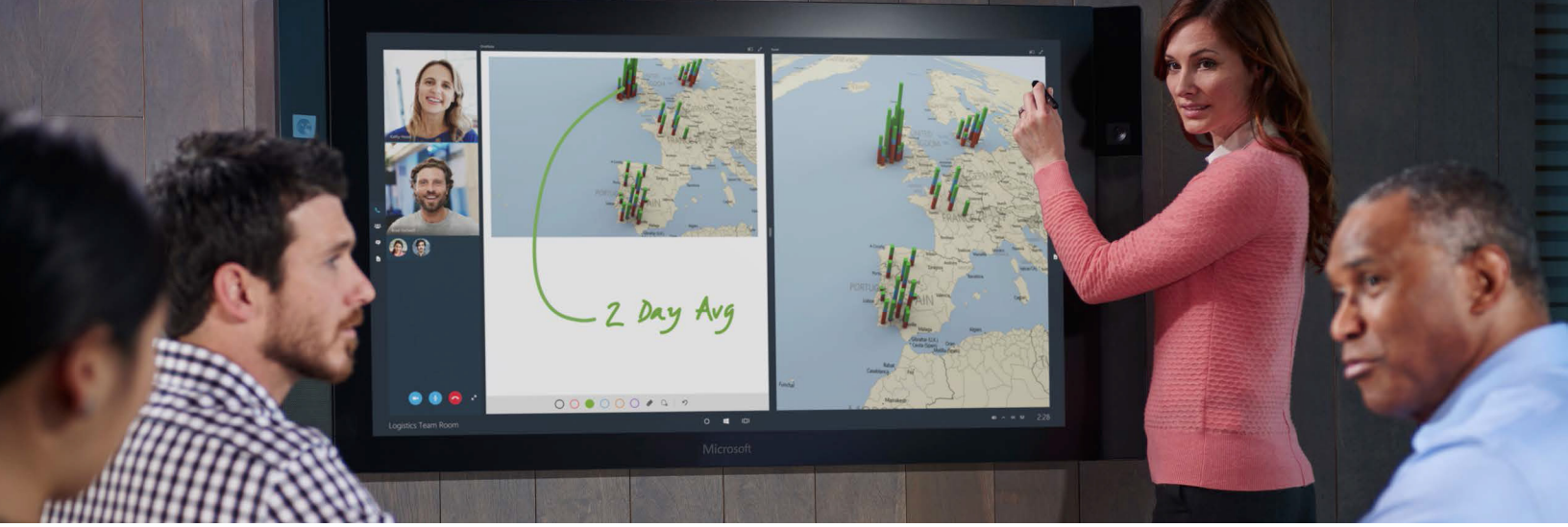
コラボレーション デバイスを活用してチームワークと自由な創造性を高める建築事務所

SHoP Architects は、建築の手法とプロセスの創造性や効率を高めるため常にテクノロジを活用してきました。Microsoft Surface Hub チーム コラボレーション デバイスを使用すると、アイデアを形にしやすくなり、創造的なプロセスに投入する人材を増やすことができます。また、自然で直感的なペンやタッチの機能を活用して、デザイン プロセスの基盤となる 3-D モデルを描いたり、注釈を付けたり、検証したりすることができます。

SHoP Architects

www.shoparc.com
従業員数: 180 人
米国
専門サービス — 建築

Microsoft Surface Hub



ニューヨーク市を拠点とする SHoP Architects は、斬新なアプローチで設計に取り組んでいます。業界でパターン化していた仕事のあり方を見直し、従来の建築家の役割を発展させようとしています。

ビジネス ニーズ

SHoP Architects は、受賞歴もあるバークレイズ センター (ニューヨーク市ブルックリン) を手がけた事務所です。より優れた建築設計方法の確立を目指して 1996 年に創業し、それ以来、革新を続けています。 テクノロジ、とりわけ 3-D デジタル モデリングは、この建築事務所の創造的できわめて効率のよいコラボレーション ワーク プロセスの基盤となるものです。 「私たちは 3-D モデリングを使用してシステムの編成や取引先との調整を行いますが、伝統的な建築業界の手法というよりも航空宇宙産業と共通する面が多いのです」と John Cerone 氏 (SHoP Architects、アソシエート プリンシパル、バーチャル デザイン建築担当ディレクター) は言います。

この建築事務所のプロセスは従来の手法に比べて格段に効率が向上していますが、建築家たちは絶えずアイデアと最終設計の隔たりを埋める手段を求めています。 「通常、私たちは画面上でモデルを操作しながら、ホワイトボードを脇に置いてスケッチを描いたり、メモを書き込んだりします」と Cerone 氏。 「スクリーンショットを撮って書き込んでいますが、画面上に直接書き込んでモデルに取り込めるのが理想的です。」

そうすれば、ごく自然に創造的な作業が行えると、彼は付け加えます。「すべての図面を 1 枚ずつスキャンしてトレースしなくて済むなら、さまざまなアイデアを試しやすくなります。」

「Microsoft Surface Hub はあらゆるタイプのコラボレーションに役立つでしょう。また、業務内容にかかわらずオフィス中のだれもが使えます。」

—John Cerone 氏 (SHoP Architects、アソシエート プリンシパル、バーチャル デザイン建築担当ディレクター)

Microsoft Surface Hub

「重要なのは時間ではなく、オリジナルのスケッチから失われるエネルギーです。」この事務所が使用しているソフトウェアのほとんどはマウスで制御しますが、Cerone 氏によれば、これは手書きが主体となる分野で働くほとんどの人にとって自然な方法ではないそうです。 「ペンまたは手で画面に描画するインターフェイスが最も直感的です」と彼は言います。

バーチャル コラボレーションは、この事務所が常に推進しようとしているもう 1 つの分野です。 「私たちにとって、コンテンツを表示する画面は 3-D デジタル環境へのポータルです」と Cerone 氏は話します。 「Web 会議やス画面共有セッションは非常に有益で、社内の各チームが毎日何度も行っています。」ただし、この事務所には参加者が画面のコンテンツを同時に操作する手段はありませんでした。

ソリューション

効率と創造性のさらなる向上のために、SHoP は、Microsoft 出資のパイロット プログラムの一環として Microsoft Surface Hub チーム コラボレーション デバイスを導入します。 この事務所では、1 台は共用スペース (ブレーンストーミングや臨時ミーティングのために使われる中心的な場所) に、もう 1 台はクライアント、建設会社、その他のプロジェクト関係者と打ち合わせを行う正式な会議室に設置する予定です。

この導入によって、SHoP は求めていたさまざまな最新機能を 1 つのデバイスで得ることになります。たとえば、Skype for Business のビデオ会議を使用すると、その場に同席している参加者とリモート参加者が、データに基づくビジュアルな創造的プロセスを共有できます。建築家たちは、ペンと紙を使うのと変わりなくデジタル環境を使いこなせるでしょう。もう既に、クライアントと共同で行うブレーンストーミングのメリットを感じています。また、応答性に優れたデジタル インク入力と統合されたスタイラスも提供されます。 「Surface Hub はあらゆるタイプのコラボレーションに役立つでしょう。また、業務内容にかかわらずオフィス中のだれもが使えます」と Cerone 氏。

メリット

チームワークの促進

1 台のコンピューターやタブレットの画面の周りに群がるのではなく、だれもが居心地よく創造的なプロセスに参加できます。 「Surface Hub は、人々を引き寄せてコラボレーションを促進します」と Cerone 氏は話します。 「画面に映し出された環境にだれもが同時にコメントを付けたり参加したりすることができます。 これによって想像以上の成果がもたらされることでしょう。」

効率の向上

アイデアを形にする時間を短縮することは、常に SHoP の重要な課題でした。Surface Hub はこの時間の短縮に大いに役立つはずです。 「効率はすべてです」と Cerone 氏。 「アイデアは早く伝えられるほどいいのです。」建築家が思いついたアイデアを、迅速に少ない手順で 3-D モデルに組み込むことができれば、生み出されるアイデアの質を損なうことなくプロジェクトの考案にかかる時間を短縮できます。

クライアントとの連携

サービスを依頼する人々の目的、考え、決定を真に理解することは、SHoP の精神です。 これによって、チームはクライアントのニーズに合った建物

「Microsoft Surface Hub は、人々を引き寄せてコラボレーションを促進します。 画面に映し出された環境にだれもが同時にコメントを付けたり参加したりすることができます。」

—John Cerone 氏 (SHoP Architects アソシエート プリンシパル、バーチャル デザイン建築担当ディレクター)

を迅速に効率よく設計することができます。SHoP が Surface Hub を利用すれば、世界中どこにいても、クライアントと密接に連携することが可能です。 「私たちはクライアントがその場にいるときは、必ず図や絵を描いて要点を説明します。 それをバーチャルで実現する機能は非常に役立つでしょう」と Cerone 氏は言います。

実践的な創造性のサポート

画面に直接描画する機能は、特に遠隔地から作業する場合に創造性の流れを途切れさせません。 「革新的な大プロジェクトがボツワナで進行中で、現地の専任チームが我が社のデジタル モデルを使用して工事を管理しています」と Cerone 氏は話します。 「Skype for Business を使用して共同作業を進めていますが、いつも画面上で描画ができればと思います。 そのためスクリーンショットを撮ってからコメントを付けるのですが、時間がかかるし効率がよくありません。 Surface Hub デジタル マークアップ ツールを使うようになれば、創造的な勢いを持続できます。」

未来へつながる機能

3-D モデリングおよび建築設計用ソフトウェアが進化していることから、SHoP は、Surface Hub のペンやタッチの機能が創造的なプロセスに欠かせないものになると考えています。 「スタイラスを使用して細部や構成要素をスケッチする機能や、ソフトウェアによってそのスケッチを有効な幾何構造に変換する機能は、私たちの仕事にとって非常に大きな意味があります」と Cerone 氏は言います。 「直接画面上でモデリングを行うことは長年の夢でした。私たちが使用しているソフトウェア パッケージもまもなくタッチ機能を強化したインターフェイスに対応するようになり、夢が現実になると思います。」SHoP は、Surface Hub デバイスを使用することによって、そうした機能が利用可能になった際に最大限のメリットを得られるでしょう。

Microsoft Surface Hub

Surface Hub は、Windows 10、OneNote、Skype for Business などの Microsoft のソフトウェアやサービスとの連携によってグループの力を解き放つ、コラボレーション デバイスです。

Microsoft Surface Hub について詳しくは、以下をご覧ください。 www.microsoft.com/surfacehub

この導入事例は、情報提供のみを目的としています。MICROSOFT は本書の情報について、明示的にも暗示的にもいかなる保証もいたしません。ドキュメント公開日: 2016 年 2 月